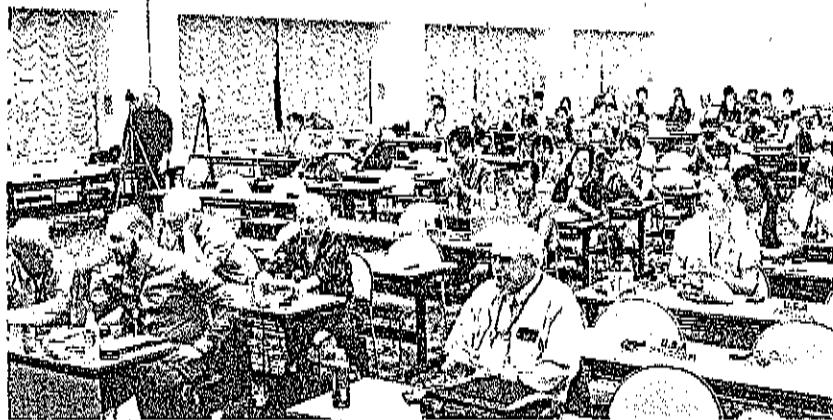


5/6 木 72



国際会議宣言を採択して閉会した原水爆禁止
2023年世界大会・国際会議=5日、広島市中区

原水爆禁止世界大会

核禁条約参加迫への運動を

国際会議が宣言採択

広島市内で開かれていた原水爆禁止2023年世界大会・国際会議は5日、「国際的共同をさらに発展させ、各國政府と核兵器禁止条約参加を通じて強化しよう」と呼びかける国際会議宣言を採択して閉幕しました。

「国際的共同をさらに発展させ、各國政府と市民社会の共同活動を発展させたい」と訴えていました。

国は、核兵器の使用の危険を前に「今こそ行動する時だ」と訴えています。核兵器廃絶の光を輝かせよう」と呼びかけました。

米国の平和・軍縮・共通安全部門キャンペーンのジエラード・ガーンン議長は、「ヒバクシャの強烈な被爆を軸に、国民との対話を広げよう」と呼びかけました。

日本は、核抑止力に依拠しました。シヨンでは、「核兵器の禁止」を課った「安全保障」論を打ち破る力を与えてくれます。

→真面目な、関連のない世界の実現」をテーマに討論。核保有国や同盟国の中でも、第2回締約国会議にあわせた米国は、11月の核兵器禁止条

約第2回締約国会議、核不拡散条約（NPT）再検討

ト）に加盟したばかりの

北大西洋条約機構（NA

ト）に加盟したばかりの

フィンランドから「平和を

求める女性の会」のウーラ

・クロッツァーさんが発

言。「NATOが拡大を続

ける限り、核共有している

国々が禁止条約に調印する

ことはない」とのべ、3月

に結成した「日本で

国際的共同をさらに発展

させ、各國政府と市民社会の共同

活動を発展させたい」と訴えていました。

日本は、秋の第78回国連

総会、11月の核兵器禁止条

約のない平和で公正な世界

市民社会の連帯と行動」

では、米国中心の軍事同

盟に抗する草の根の実践

を各国代表が報告しまし

た。

広島市で開催した原水爆禁止NOD年世界大会・国際会議で、「採択された「議題」（全文）は次の通りです。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづける私たちの責任も重大である。核兵器は、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

78年前の8月6日と9日、すべての国の義務である。アメリカ軍が広島と、長崎に投下した原子爆弾は、瞬時に両都市を破壊し、人類が体験したことのない、「この世の地獄」と言われる惨状をもたらした。1945年未だに25万人の命が奪われ、かろうじて生きのびた被爆者たちも、放射線による疾病をはじめ後遺症に苦しめ、社会的、経済的差別を受けた。この結果を決して忘れない。

世界は今なお約1万2000発の核兵器が存在している。その廃絶は、人類が先達のかかわり緊急の課題である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

ロシアのハーブン政権

安保理決議に違反して、「和世界」を実現するには、侵略と核武装による

核不拡散条約（NPT）

すべての軍隊を撤退させ

る。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

原水爆禁止2023年世界大会 議題宣言

○7 広島サミットが「核抑止力」論を公然と主張し、被爆者と被爆地を震撼したことは、断じて許されない。今年7月に開かれたNATO首脳会議は、安全保障といふ間に坐すした原子爆弾は、瞬時に両都市を破壊し、人類が体験したことのない、「この世の地獄」と言われる惨状をもたらした。1945年未だに25万人の命が奪われ、かろうじて生きのびた被爆者たちも、放射線による疾病をはじめ後遺症に苦しめ、社会的、経済的差別を受けた。この結果を決して忘れない。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。

世界はいま、ウクライナの戦争と核威嚇などによる脅威を圍むるなかで、核兵器の使用の現実の危険が高まる中で、核兵器はいかなる状況においても決して使用されべきではない。核兵器への固執をつづけるアメリカは、被爆者たちに訴え、核兵器はいかなる紛争の平和的解決を止め、たゞ国連憲章の原則を正面に進むべし。総会議事書決議に沿ったすべてを一刻も早い実り、その廢絶こそが国連の使命である。